

■節電行動計画

事業者名	社団法人 日本医療法人協会(事務局)	責任者名	清 賢二
節電目標	昨年夏ピーク比で△20%	節電実績	

5つの基本アクションをお願いします		建物全体に対する節電効果	実行チェック
照明	・執務エリアの照明を12%間引きする。	12%	✓
	・使用していないエリア[会議室、廊下等]は消灯を徹底する。	3%	✓
空調	・執務室の室内温度を28℃とする[または、風通しなど室内環境に配慮しつつ、28℃より若干引き上げる]。	2%	✓
OA機器	・使用していないエリアは空調を停止する。	2%	導入済
	・長時間席を離れるときは、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにする。	3%	✓

さらに節電効果が大きい以下のアクションも検討してください			
空調	・室内のCO2濃度の基準範囲内で、換気ファンの一定時間の停止、または間欠運転によって外気取入れ量を調整する(外気導入による負荷を減らすため)。	5%	導入済
	・日射を遮るために、ブラインド、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する。	3%	導入済
	・冷凍機の冷水出口温度を高めに設定し、ターボ冷凍機、ヒートポンプ等の動力を削減する(セントラル式空調の場合)。	2%	
その他	・複数の事業者で交代で休業する。(7グループに分けて、輪番で週二日休業した場合)	14%	

メンテナンスや日々の節電努力をお願いします			
照明	・昼休みなどは完全消灯を心掛ける。		
	・従来型蛍光灯を、高効率蛍光灯やLED照明に交換する。(従来型蛍光灯からHF蛍光灯又は直管形LED照明に交換した場合、約40%消費電力削減。)		
空調	・フィルターを定期的に清掃する[2週間に一度程度が目安]。		✓
	・電気室、サーバー室の空調設定温度が低すぎないかを確認し、見直す。		
	・室外機周辺の障害物を取り除くとともに、直射日光を避ける。		
	・電気以外の方式(ガス方式等)の空調熱源を保有している場合はそちらを優先運転する。		
	・朝の涼しい時間帯から設備を起動したり、分散起動すること(複数台数の場合)により、立上げによるピーク電力上昇を抑制する。		
コンセント動力	・エレベーターやエスカレーター稼働を半減または停止する。		
	・電気式給湯機、給茶器、温水洗浄便座、エアタオル等のプラグをコンセントから抜く。		✓
	・自動販売機の管理者の協力の下、冷却停止時間の延長等を行う。		
その他	・デマンド監視装置を導入し、設定を契約電力の△15%とし、警報発生時に予め決めておいた節電対策を実施する。		
	・コージェネレーション設備を所有している場合は、発電優先で運転する。		

従業員やテナントへの節電の啓発も大事です			
節電啓発	・オフィス全体の節電目標と具体的なアクションについて、関係全部門へ理解と協力を求める。		✓
	・節電担当者を決め、責任者と関係全部門が出席したフォローアップを実施する。		✓
	・従業員の夏期の休業・休暇の分散化・長期化を促す。		✓
	・従業員に対して、家庭での節電の必要性・方法について情報提供を行う。		✓

※ご注意

- ・記載している節電効果は、建物全体の消費電力に対する節電効果の想定割合の目安です。
- ・空調については電気式空調を想定しています。
- ・一定の条件の元での試算結果ですので、各々の建物の利用状況により削減値は異なります。
- ・方策により効果が重複するものがあるため、単純に合計はできません。
- ・節電を意識しすぎるあまり、保健衛生上、安全上及び管理上不適切なものにならないようご注意ください。